



大垣 照子 議員

質問

二元代表制、どう考えるのか

町長

議会は首長や行政を監視する

質問 町長や議員は、二元代表制によって選出されているが、理解していない人がある。二元代表制では、議会在首長を指名することはなく、国会の議院内閣制とは異なり、与野党の関係はない。

私たちは、有権者の監視や批判等を前提にした民主条件付きの代表であり、決定権を全て白紙委任されたものではない。この二元代表制についてどう考えるのか。

町長 首長は、議会に予算や議案提出、人事権等があり、議会は、議案決議や首長の行政運営を監視する立場にある。

インフルエンザ接種料の助成を

質問 昨年同時期に、幼児のインフルエンザ予防接種料助成の質問を行い、町長は、「30年度予算に間に合わず、次年度に考えたい」との答弁。1年間、考慮の時間があつたが31年度予算に確実な計上を行うか。

町長 国の治験として小児接種の有効性には限界があり、任意接種が適当との結論が出た。発病防止

再質問 ならば、希望者に任意接種助成の考えは。

町長 先の答弁通り。他の自治体や県の動向を見ながら検討する。

※ 他の自治体がどうであろうと、本町の子育て支援策に盛り込む考えを。

会計年度任用職員制度について

質問 会計年度任用職員制度について、様々な条件等の確定前に職員組合との協議や調整が必要。進捗状況は。

町長 制度の大枠は協議している。本町の個別具体的内容は検討中だ。

質問 来年6月議会に条例上程なら、協議・調整は早く密に行うこと。時間不足は問題だ。

町長 早期に行いたい。

質問 採用中の臨時・非常勤職員への周知・説明は。また対象職員の理解は。

※ パンフでは分かりにくい。対面での説明を。



奥出雲町の宝である子どもたちにインフルエンザ予防接種料の助成を